

「教育の質とは－ベトナムの視点と実践－」

ホ・タン・ミ・フン

東南アジア教育大臣機構

教育研修センター教育経営部部長兼教育研修センター副センター長



1. はじめに

「教育の質」は国や時代を超えて、常に生活や開発の重要な要素と考えられている。国の教育制度の質が高ければ、人々は各自の経済的・社会的・文化的目標を達成しやすくなる。社会はより強化され、指導者はよりよく社会のために奉仕するようになり、重要な意味で、より公平な社会になる。そのため政府や教育の指導者や教育者は、初等教育から高等教育まで、すべてのレベルで教育の質を改善し保証することを重視し、努力し続けてきた。

ベトナムも例外ではなく、すべてのレベルで教育の質を保証し、教育制度の全体的な向上をめざすために尽力してきた。教育予算も増額し、特に教員の質、カリキュラム、学校設備、教育行政などの向上をめざしてきた。「質の高い教育」は、どこでも提唱され、政治家、財界、学界、投資家、学校管理職、教員、保護者、児童・生徒、地域の人々など、あらゆる人々が大きな関心を寄せているが、ここでは教育の質の「定義」を考察する。「教育の質」は、どの国でも同じか、それとも異なるのか。この論文では、「教育の質」の意味について共通の理解を持てるように、ベトナムにおける「教育の質」の視点と実践を取り上げる。すべての国が「教育の質」について共通の理解に立てば、私たちの共通の目標を達成するための道筋を明らかにできるのではないかと期待する。

2. 「教育の質」とは何か

「教育の質」は、様々な見方や定義がある。ダカール行動枠組み（2000年）には、「質は『教育の中心』である。質が就学率、継続率、学校の成績を決定する」とある。これはベトナムでも証明されている。学校でどれほどよく教えているか、生徒がどれほどよく学んでいるかが、実際に学校の継続率と出席率に大きな影響を与える。

ユニセフ（2000年）は、質を構成する要素として、学習者、環境、内容、プロセス、成果の5つを取り上げた。ベトナムの教育の指導者や教育者たちも、教育の質は、これら5つの要素からなると考えている。しかし、ベトナムでは教育の質の定義は少し異なる。ベトナムでは、教員の質、カリキュラムや教材の質、教授法、学習者の意欲、人生で役立つ教育が、教育の質に大きく関わると考えられる。

教員の質

ベトナムでは、教員がいかにきちんと訓練を受けているかが教育の質の重要な指標である。しかし教員の質は、教員の資格などの客観的で安定した指標だけでなく、教員の態度や教員と生徒との人間関係などにも左右されるため、定義するのが非常に難しい。ベトナムでは、教員の資格は、教員のスキルや能力や知識など、比較的客観的な評価に基づく。それに加えて、経験年数、学校活動への参加、教授法などの研修も、教員の質を評価する指標として用いられる。

カリキュラムや教材の質

ベトナムでは、カリキュラムや教材の質も、教育の質に大きく関わる。在学中だけでなく卒業後の人生に

においても生徒の成功を保証するためには、最新のカリキュラムや教材の導入も必要である。2000 - 2001年度からベトナム政府や教育界の指導者たちは、たいへんな努力を払って、特に幼稚園から高校3年生までのカリキュラムや国定教科書を改訂してきた。

教授法と生徒の意欲

教授法は生徒の意欲に大きく関わっていることが研究でわかっている。学習者中心のアプローチは教員中心の教授法に比べて、生徒の意欲が高いということが証明されている。学習者中心の教授法を用いると、生徒同士のインタラクションだけでなく、教員と生徒のインタラクションも活発になる。インタラクションが活発になると、授業と学習のプロセスがよりダイナミックになり、その結果、生徒の学習が向上する。多くの研究者は、直接指導、指導による練習、自主的な学習を組み合わせることで構成した授業を提唱している。このように様々な教授法を組み合わせると、生徒が意欲的に授業に参加するだけでなく、家庭学習の意欲も高まることが実証されている。ベトナムは、教授法と生徒の意欲は教育の質を向上させるために非常に重要な要素であると考えられる。

人生で役立つ学校教育

人生で役立つ学校教育も、教育の質を検討するための重要な要素の一つである。いかにうまくグローバル化の時代に対応し生き残るかが生徒の成功を左右するようになったため、「学校教育が人生でいかに役立つか」は、これまで以上に重視されるようになった。人生の成功に役立たない教育制度は、効果がなく質の低い教育とみなされる。

3. 教育の質を保証するためにやるべきこと

教育の質を保証するためには、教員の訓練、カリキュラムや教材の改訂、学校設備の充実、ICTを教育や学校経営に導入すること、質の保証制度の活用など、様々な取り組みとリソースが必要である。

教員の訓練

学習水準は、かつてないほど高くなっている。今日の社会で生き残り成功するためには、より多くの知識と高いスキルが必要である。そのため教員は、役立つ情報を生徒に教えるだけでなく、生徒がより高度な教材を学び、幅広いスキルを習得するのを、より効果的にサポートしなければならない。(Hammond & Bransford, 2005) 教員の訓練は、授業や学習の質を高めるために重要な役割を果たしてきた。学校教育に求められるニーズが急速に変化している中で、ニーズに合った教育を提供することは、国にとって最大の課題の一つである。教員の訓練の質は、教育制度の質に決定的な影響を与える。

教員の訓練には、教員養成と現職研修がある。教員養成のプログラムは時間がかかり、ほとんど教えた経験のない学生を対象とする。一方、現職研修は、現職の教員に専門性を高める研修を提供するものである。それぞれ目標があり、教員養成プログラムは、新しく教員となる人材を養成するのに対し、現職研修プログラムは、現職教員のレベルアップを図る。

教員は教えながら、常に新しい知識やスキルを習得し、開発し、積み上げなければならない。これは、フォーマルやノンフォーマルの訓練によって知識やスキルを全部まとめて学ぶというよりは、教員としてのキャリアを通して学び続けるものである。(Hammond & Bransford, 2005) ゆえに教員は、知識やスキルを向上し続けるために、生涯学び続ける「適応的熟達者 (adaptive experts)」になるよう訓練されなければならない。特に新任教員は、向上し続けるために、批判的な考えができ、実践を省察し評価し、そこから学ぶことができなければならない。

現行のカリキュラムや教材の改訂

教育の質を向上するには、学校のカリキュラムや教材の改訂が不可欠である。教科書やカリキュラムの改

訂は、現在、中央政府の教育訓練省（MOET）で行っており、非常に重要である。改訂はされているが、ベトナムでは地域によって学校の需要が異なり、高まるニーズに合った教育を提供できていない。カリキュラムや教科書は改訂を続けなければならない、教育訓練省が改訂の責任を負っている。また教員も、自分の教える領域や教科の目的に合った教材を開発する研修を受けている。知識やスキルを高め、地域のニーズに合わせて教材を改良できるように、様々なレベルのワークショップが教員や管理職に提供されている。

ICT を授業や学習や学校経営に導入する

今はグローバリゼーションの時代であり、コンピュータにインターネットを接続するだけで世界の知識を得られる。また、従来のように教室で授業をするだけでなく、オンラインによる遠隔教育も可能になった。確かに ICT は、教育の質を向上するために不可欠なツールである。ICT によって生徒の知識を高めたり、自習を助けたりできる。そのため、ICT を授業や学習で活用することは、教育の質を向上させるために重要と考えられている。さらに、学校経営でも ICT が必要な時代となった。円滑なコミュニケーションを図り、学校経営の活動を正確に迅速に知らせるためにも、学校経営に ICT を活用することが不可欠になった。

設備投資の予算を増やす

質の高い教育を保証するために、低所得国では教科書や補助教材や学校の設備などの予算を増やし、1 学級あたりの生徒数を減らさなければならない。ベトナム政府は、毎年教育予算を増額している。教育予算の大きな部分が、教員の訓練、教室の建設、コンピュータや本などの設備の購入などにあてられている。これにより、授業や学習の質が向上し、中途退学者が減り、生徒の成績が伸びている。1 学級あたりの生徒数は 50 人以上から 40 人以下に減り、教員と生徒のインタラクションが増え、学習者中心の授業ができるようになった。ほとんどの学校にコンピュータやインターネット・アクセス、プロジェクター、スクリーンなどの技術が導入された。これらの機器によって、授業の準備や生徒の自習にかけられる時間が増えた。ベトナムでは、きれいな水の確保、衛生、障害を持つ生徒の受け入れも大きな課題であり、これらの問題も取り上げられるようになってきた。

すべての学校で質を保証する活動を実施

最近、ベトナムの教育訓練省は全国の学校で質の保証活動を奨励し、2008 年 12 月 31 日に、学校の質の保証や認定に関する手順やサイクルを示した規則を発表した。質の保証には、学校自体が評価する内部保証と、第三者が行う外部保証がある。これによってベトナムは、今後数年のうちに、全国の学校で教育の質を向上できると確信している。

学校の管理職

高い質の教育を提供できるよう、学校の管理職に権限を与えなければならない。中央政府は、学校に十分なリソースを与え、役割や責任を明確にした上で、より大きな自由裁量を学校に与えるべきである。そうすれば校長は学校の質の向上に大きな力を発揮できる。ベトナムでは長年、学校の管理職は中央政府の指示に従ってきており、学校側にはほとんど権限がなかった。しかし中央政府は最近、より大きな裁量を学校に与え始め、学校の管理職は、予算計画や人事など学校の経営計画に、自分たちの意見を反映できるようになってきた。しかし学校教育の質を高めるためには、より大きな自治が学校に必要である。

4. 結論

教育の質の定義や評価の方法は数多くあるが、どのような定義であっても、教員の質、カリキュラムや教材の質、十分な学校設備、優れた管理職などが教育の質を左右する。そのため教育の質を向上するには、教員の訓練、カリキュラムや教材の改訂、学校設備の向上、有能な管理職などが欠かせない。ベトナムは教育制度の質の向上に取り組む決意でいる。しかし有資格の教員や訓練を積んだ管理職が不足し、現行のカリキュ

ラムが大きな負担を強いており、教員は ICT を活用できず、管理職や教員の外国語力が低いなど、課題が山積している。開発途上国のベトナムでは、教員は給与が低く、生活のために他の仕事も抱えて重労働を強いられている。生徒に質の高い教育を提供するには、学校の設備や教材が全般的に不十分である。しかし質の向上は常に「教育の中心」にあり、ベトナムの教育界の指導者や教員全員の中心的課題である。ベトナムの教育の質をすべてのレベルで向上させるために、しばしば外国の支援も受けながら、私たちは大きな努力を続けてきた。ベトナムは伝統的にそうしてきたように、一歩ずつ困難な道のを注意深く歩みながら前進をめざしている。

参考文献

Hammond, L.D. & Bransford, J. (2005). *Preparing Teachers for a Changing World*. San Francisco: Jossey-Bass

UNICEF (2000) *Education For All Global Monitoring Report*.

